令和５年7月２２日

地域密着型サービス

令和５年度　第２回運営推進会議議事録

運営推進会議の開催状況について

法人名・事業所名	社会福祉法人幸清会		
所在地	常陸大宮市野中町 3050-1		
担当者名・連絡先	来夢の杜大宮 施設長　　杉谷 操	TEL 0295-53-6549	
従業者	従業者総数 １３人（内訳：常勤 ９人　非常勤 ４人）（令和５年7月１日現在）		
うち夜勤の従業者	１日当たり事業所全体の勤務従業者数　　２人		
運営推進会議の開催日	令和５年　７　月　１９　日　（令和５年度　第２回）		
運営推進会議の構成員	所 属（団体等）名	職　名	出欠
入居者	さざんかユニット		欠席
入居者	たんぽぽユニット		欠席
入居者の家族	ご家族代表		出席
入居者の家族	ご家族代表		出席
地域住民の代表者	野中地区　区長		欠席
地域民生委員	野中地区　民生委員		欠席
地域代表	南部地域包括支援センター		出席
市町村職員	常陸大宮市長寿福祉課		欠席
地域消防	常陸大宮消防本部予防課	課長補佐	欠席
地域警察	常陸大宮警察署刑事生活安全課	警部補	出席
地域社協			
施設職員	来夢の杜太田	施設長	欠席
施設職員	来夢の杜大宮	施設長	出席
施設職員	来夢の杜大宮	管理者	出席
議題	○活動状況の報告・その他報告事項 ○面会・外出・外泊について ○会議出席者からの事業所の活動状況の評価 ○事業所への要望、助言等の意見聴取		
利用状況	利用者総数　１７人　（令和５年7月１日現在）平均介護度 2.99　稼働率　95%		
	要支援１：０人	要支援２：０人	要介護１：１人	要介護２：６人
	要介護３：３人	要介護４：６人	要介護５：１人	
報告事項	（直近約２ヶ月または前回報告以降） ・令和５年５月21 日からの事業所報告（5/21～7/19）を行った。 ５月３０日　内部研修 （テーマ：私たちの目指す認知症ケア） ５月３１日　内部研修 （テーマ：私たちの目指す認知症ケア） ６月　１日　訪問理美容（JB１） ６月　５日　新型コロナウイルスワクチン接種　６回目 （入居者 16 名、職員４名） ６月 12 日　新茶を楽しむ会 ６月 14 日　ユニット会議・サービス担当者会議（たんぽぽユニット） ６月 18 日　父の日 ６月 23 日　ユニット会議・サービス担当者会議（さざんかユニット）		

	６月29日　内部研修（テーマ：認知症ケアの歴史的変遷） ６月30日　内部研修（テーマ：認知症ケアの歴史的変遷） ７月　７日　七夕 ７月　８日　入居者様御誕生日 ７月11日　令和５年度第１回法人監事監査（ZOOM） ７月12日　ユニット会議・サービス担当者会議（たんぽぽユニット） ７月14日　ユニット会議・サービス担当者会議（さざんかユニット） ７月19日　令和５年度第２回運営推進会議・身体拘束適正化委員会・虐待防止対策検討委員会
事故の状況	事故報告０件あったことを報告した。
ヒヤリハット報告	（令和５年５月21日～７月19日）全36件 ヒヤリハットⅠ　34件 ヒヤリハットⅡ　２件 （内訳：膝折れ　１件　尻もち　１件） 苦情ヒヤリハット　０件
相談・苦情の状況	（直近２ヶ月又は前回報告以降） 苦情　無 相談　０件　（　　）
身体拘束の状況	有：無 身体拘束適正化委員会（直近の開催日　　令和５年７月19日）
感染症等の発生状況	有：無
その他の報告事項	①面会実施について、外出・外泊について資料に沿って下記内容についてお伝えした。 1.　運用開始日： 令和５年７月１日より 2.　面会可能時間帯： ・10時00分から16時00分の時間帯で対応いたします。 面会時の体調確認はご家族様自己申告とはなるが職員が目視で確認できるよう時間帯指定をしていることをお伝えした。 3.　面会予約方法： 事前にご連絡ください。 面会日時につきましては、食事や入浴等の関係でご調整をお願いすることもあるかと存じます。 なお、直前での申し込みはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。 4.　面会者数： 制限なしといたします。 なお、面会受付簿の「面会条件の確認」記入は職員で対応しておりましたが今後、ご家族様でのご記入をお願いいたします。 5.　面会場所： 各居室内での面会で対応いたします。 6.　面会可能な方の条件： 面会は下記内容を満たしたうえでの実施となりますので、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。 ①　過去２週間以内、ご面会当日に風邪症状（発熱、咳・たん、のどの痛み、くしゃみ、鼻水、下痢・嘔吐、息苦しさ・倦怠感、味覚嗅覚の異常）がないこと ②　２週間以内の接触者にコロナ感染者または濃厚接触者はいないこと ③　近親者や身近な方が、感染者との濃厚接触ではないこと

	④ 近親者や身近な方に、体調不良者はいないこと 7. 面会来訪時の感染防止対策のお願い： ① 面会受付簿へのご記入をお願い申し上げます。 ② 施設に入る際のマスクの着用、受付時の検温と手指消毒をお願いいたします。 （マスクをお忘れの際にはこちらにも準備がございますので職員にお声がけください。） 8. その他のお願い： ・オンライン面会は引き続き実施しておりますのでお声がけください。なお、外泊の件につきましては当面の間中止とさせていただきます。 9. 外泊について 引き続き中止とさせていただきたいと存じます。 原則、見取りの段階にある方については一定の感染対策にご協力いただきながら制限を緩和させていただきます。ご希望の方はご連絡ください。 10. 外出可能な時間： 10 時 00 分より 16 時 00 分の時間帯で外出をお願いいたします。 11. 同行人数： 制限なしといたします。 12. 外出場所：不特定多数が集まる場所へお出かけはなるべくお控えいただきますようお願いいたします。 13. 状況可能な方の条件 面会は下記内容を満たしたうえでの実施となりますので、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。 ⑤ 過去２週間以内、ご面会当日に風邪症状（発熱、咳・たん、のどの痛み、くしゃみ、鼻水、下痢・嘔吐、息苦しさ・倦怠感、味覚嗅覚の異常）がないこと ⑥ ２週間以内の接触者にコロナ感染者または濃厚接触者はいないこと ⑦ 近親者や身近な方が、感染者との濃厚接触ではないこと ⑧ 近親者や身近な方に、体調不良者はいないこと 14. 来訪時の感染防止対策のお願い： ① 施設に入る際のマスク着用、受付時の検温と手指消毒をお願いいたします。
添付資料	・運営推進会議次第 ・運営推進会議年間予定表 ・運営推進会議資料（R5．６月経営会議提出） ・運営推進会議資料（R5．７月経営会議提出） ・来夢の杜大宮通信（ＶＯＬ．75） ・来夢の杜大宮通信（ＶＯＬ．76） ・面会実施について、外出・外泊について
会議出席者より 事業所の活動状況の評価 事業所への要望・助言等	面会実施について、外出・外泊について 施設長 前回の運営推進会議でご意見を伺い、またご家族にも意見を確認させていただいたうえで、７月１日より運用開始しています。 外泊は当面の間中止としておりますが、常陸大宮市内事業所の動向を確認しながら再開に向けて対応していきたいと考えております。 また、外出と外泊で感染リスクの大きな差異はないと考えております。 今後も感染予防対策の徹底は必要ではありますが、ご家族様と一緒の時間を過ごすことができる機会の確保に向けて体制を構築していきたいと考えております。 面会可能な時間の設定である 10 時～16 時を解除していない理由として、面会条件の確認は来訪される方の自己申告としましたが、併せて職員が目視での体調確認と体温測定を行う観点から、対応可能な時間を考慮し継続していくことといたしました。 同行人数については制限を設けず、ワクチン接種確認もしないことと

	いたしました。 外泊について、実施している他施設の状況を確認しましたが、外泊を再開している事業所はまだ少ないようです。また、ホームページに文書を出している事業所では、外泊は可能としていますが、事業所に戻ったあと抗原検査の実施や３日間居室での隔離対応をしているようです。 来夢の杜大宮では、外出や外泊、面会で家族と一緒に過ごすことは大切なことと考えています。その外出をこのまま中止とするのではなく、その時間をより多く確保できるようにしていく必要があると思います。 新型コロナウイルス感染症が５類と引き下げられたことを考えますと、インフルエンザの流行期に外泊中止にはせず、体調に合わせて実施していたことより、今後外泊の再開に向けていかなければならないと考えております。 医療機関ではどのように対応していますか。 包括支援センターより 面会は緩くなっていて検温程度で良くなっています。 外泊は出かけるメリット、出かける事によるメリットを納得されていれば良いのではないでしょうか。家族がリスクを理解できていればいいと思います。 家族代表より おじいちゃんが外泊で１日一晩一緒に入れたというのはよかった。面会は毎日行かせてもらっていました。ワクチンをやっていなければ面会できないという所はまだあります。行くタイミングを考えると分からなくなってしまします。 施設長 インフルエンザは流時期があるけれどもコロナウイルスは年中感染者が出ている状況です。そのため、タイミングを考えると面会する機会を失ってしまうこともあるかと思いますので、来訪できる時は来ていただくのが良いと思います。 家族代表より 違った病気で考えると、帯状疱疹になっている人も周りにいますがコロナはそこまで考えずなったらなったと考え自分で対処すると考えたらよいと思います。 施設長 外泊の再開時の対応として、戻ってきたら体温測定する。隔離はなしで考えていますがこれで進めてよろしいでしょうか。 南部包括支援センターより 外泊に出かけた方だけマスクを着用する。利用者様の中にはマスクの着用が難しい方もいるかと思いますが、可能な範囲で行ってはどうでしょうか。また、手洗い、うがい、消毒の徹底でリスクが下がるのではないでしょうか。 施設長 そうですね。外泊より戻った際にマスクを着用するのも良いかもしれませんね。来夢の杜大宮での対応として参考とさせていただきますね。 安藤さんどうですか。 家族代表より うちは頻繁に外出させてもらっているのでありがたいです。 コロナが５類というふうになった今が一番危ないのではないでしょうか。老人活動をしていますが、そこでも５類となって気が緩んでしまう今が一番注意しなければいけないのではないかと話をしています。皆さんワクチンは６回やっていますか。 施設長 入居者様はみなさん６回やっています。基礎疾患のある人や 65 歳以上の職員も６回目の接種を終えています。 家族代表より 他の施設はいまだに面会をさせてもらえないところがあります。病院に行くときのみ会うことができるようですが。そこと比べると私たちは

	助かります。外泊は本人の希望があるので、あとは家族の状況かなと思います。 施設長 先程のご意見はすごく大切なことで感染防止対策を緩めてはいけないと思います。職員の健康チェックと勤務時マスク着用、手洗いと嗽の徹底は引き続き行っていきます。また、この会議で皆様から頂いたご意見を持ち帰り、職員と相談し進めていきたいと思います。